

## 北海道産の食材を使った商品を扱う新業態の店舗をオープン

大正15年(1926年)創業の老舗企業である日本新都市開発は不動産や建設、飲食、倉庫卸、レジャーの各事業の運営に続いて、製菓製パンを手掛ける新業態の店舗を北海道と都内で今年の夏からオープンする。

同社は北海道に本拠を構える商事本部で小売店や飲食店への卸売りを行いながら、仕入れた食材を自社店舗でも活用することでスケールメリットを生かした事業展開を図る。

新店舗の名前は「北海道ミルクプラント」。田鍾柱社長は「国内外の皆さまに北海道産の生乳、果実、小麦を使ったパンやアイスクリーム、

フレッシュジュースなどの商品を味わっていただきたいと思っています。経営面では店舗運営に加えて、自社店舗やお取引先さまの出店候補地となる物件探しや店舗の設計施工、調理に必要な関連機械の設置をワンストップで手掛けることで、グループシナジーを利かせていきます」と話している。

7月中にも小樽市にあるゴルフ練習場「小樽バーデイクラブ」内と、東京港区虎ノ門に店舗を開設する。3店舗目となる本店は北海道支社が入居している小樽市内の自社ビル1階で、8月8日から営業を開始する見込みだ。ビル内にはコミュニティサロンを併設し、「北海道ミルクプラント」の買い物が購入したものを食べながら他の利用者と交流できる場を提供する。田社長は「小樽や虎ノ門での営業が軌道に乗れば、北海道全域やがては全国での展開を視野に入れていきます」と意欲を見せる。



田鍾柱社長